

第1回消防力強化のための勉強会の概要

日 時：平成28年9月26日10:00～12:00

場 所：大阪府庁新別館北館1階 災害対策本部会議室

《概 要》

■ 事務局から資料説明の後、各構成員による意見交換

(主な意見)

- 地域によって課題が違う。府内の状況も調べることで、より府内の課題が浮き彫りになると思うので、各消防本部の課題を分析すべき。
- 小規模消防本部の課題は、件数等のデータだけでなく、実際に様々な事案に適切に対応できているのかどうかの観点で考えるべき。
- 府内で軽症者の搬送割合が多いのは、医療部局や受入医療機関との連携の視点も含め対策を考えるべき。
- 救助事案の増加は、1人暮らし高齢者の室内閉じ込め事案など都市部で特に顕著。また消防のみならず役所の担当部局や地域住民のとの連携も重要。
- 救急需要は20年で倍増しているが、救急隊員の人数は増加していない。消火隊を削って救急との兼任で対応、救急隊の増隊が課題。消火隊も予防職員も同様。自市の業務に対応できるだけの人数確保が課題。
- 地域によっては職員の若年化が進んでいる。人材育成が今後の課題
- 定年後のベテランの再任用職員を活用しているが、一方で条例定数との関係があり、新規採用を抑制せざるを得ない状況。
- 過去、消防の広域化を議論したが、財政負担の増、消防力の差等を理由に議論が休止。財源の議論から話をすべき。
- 今後の財政力を踏まえると消防職員の増加は厳しい状況。
- 年度内勉強会取りまとめは、タイトなイメージ。
- 各消防本部によっていろいろな思いがある。複数のパターンで整理が望ましい。

《結 論》

- 資料1～4について了承
- 今後、第2回目の開催までに、府内全消防本部に対して、現状と課題等についてアンケート調査を行い、それをもとに次回に解決策の検討を行う。
- 勉強会として、複数案を示し年度末にとりまとめを行う。